

# 非結球メキャベツ(プチヴェール)

## 1 作型

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
作 型	-									

:鉢上げ      :定植      :収穫



非結球メキャベツ(プチヴェール)



樹姿

## アピールポイント

- ・出荷期間: 12月上旬～4月中旬。
- ・プチヴェールはメキャベツとケールをかけあわせて、日本で生まれた新野菜です。ビタミンC、カロテン、鉄分、カルシウムの含有量が高く、栄養価が高いことが注目されています。
- ・プチヴェールとはフランス語で「小さな緑」を意味します。大きさはピンポン玉大で、味には甘みとコクがあります。
- ・全国的に産地は多くはありませんが、県内では平成14年から南アルプス市大師地区で栽培されています。主に市場に出荷されていますが、県内スーパーとの契約取引も行っています。
- ・プチヴェールは気温が低いほど、糖度が上がります。南アルプス市は露地栽培のため、糖度が高く、市場でも評価されています。

## 2 栽培のポイント

種子の販売はなく、種苗会社より苗で供給されます。7月上旬にセル苗を購入し、9cm以上のポットに鉢上げします。夏の暑さを嫌い、害虫の発生を防ぐため、寒冷紗をかけます。鉢上げ後、約20日で定植します。樹高を確保するために、お盆までには定植を終えます。

畝間110cm、株間80cmで定植します。間隔が狭くなると、作業性が低下したり、生育が遅れます。元肥として施用量の3分の1を施します。堆肥は全面に散布せず、植溝の下に局所施用すると、根がよく伸び、生育がよくなります。追肥は施用量の残り3分の2を3回に分けて、9月中旬、10月中旬、11月上旬に施します。

9月上旬、幹の地際から異常に伸びた芽が出てきたら、早めに摘み取ります。また、この頃から、黄化して地面に着いた葉は順次摘み取ります。

収穫は12月上旬からが目安です。4～6cmになった脇芽(プチヴェール)を下から順に収穫します。収穫後、その上の本葉は折り取ります。

収穫最盛期は2月半ばですが、12月に葉を落として樹体を水封マルチで覆うと、収穫ピークが10日ほど前倒しになります。被覆するとアブラムシの発生が多くなるため、マルチの地際部をくくり、アブラムシが侵入しないように注意します。

主要な病害は黒腐病、軟腐病です。害虫は9月末まではシンクイムシやヨトウムシ、オオタバコガの発生が多く、被害に遭うと収穫ができなくなるため、防除を徹底します。栽培期間を通して、アブラムシが発生し、冬季は葉に潜り込むため、注意します。



被覆栽培